

平成28年2月4日

テロの特徴と対処方法

領事局海外邦人安全課
邦人テロ対策室



外務省

Ministry of Foreign Affairs

無差別テロの特徴

- * 少ない労力で最大の被害(殺傷)を狙うため、人が多数いる場所や時間を狙う。

○場所(例)

人通りが多い → 駅, 空港, バスターミナル,
多数集まる → 観光地, 宗教施設, ショッピングセンター,
競技場, 劇場, 市場, ホテルのロビー,
レストラン, デモ会場, パーティー, イベント会場

○時間(例)

朝夕のラッシュ時, イベント開催時間帯, 週末の夜,
休日の日中, 金曜礼拝の時間帯。

爆弾テロと銃乱射事件の特徴

○爆弾テロの特徴

- * 市場、宗教施設等多数の人が集まる場所に仕掛ける。
- * 1回目の爆発で人が集まったところで2回目の爆発を行うことがある。
- * 自爆テロという手段も多く見られる。
- * 爆発による直接的な被害の他、爆風に伴う体内気圧の変化による肺・鼓膜の損傷もある。
- * ガラスの飛散による負傷もある。
- * ナイトクラブや列車等の密閉空間では少量の爆弾で大きな殺傷効果。
- * 避難者による将棋倒しによる圧死ということもある。

○銃乱射事件の特徴

- * 殺傷力の高い自動小銃を使用。
- * 可能な限り多数の人々を殺傷することが目的のため、弾薬がなくなるまで乱射し、執拗に生存者を探す。
- * 犯人は、出入口付近で避難者を待ち受けることがある。
- * 犯人が立てこもることもあり、負傷者の救出に時間を要する場合もある。

テロの被害を受けないための事前対策 その1



(基本事項)

- * 危ない国・場所・時間帯を避ける。
- * 用心を怠らない(周りの情勢に気を配る)。
- * 在留届や「たびレジ」に登録する。

(選定・確認・習慣)

- * 十分な安全対策をとっている施設・ホテルを滞在先に選ぶ。
- * 現地の治安情勢に応じて交通手段を選ぶ。
- * レストランでは、オープンスペースや出入り口付近、ガラス戸近くを避け、奥の壁際か柱の近くに席をとる。
- * 宿泊先やレストラン、会場では利用時に非常口や退避ルートを確認する。
- * 人混みを避ける。防御壁になるものを見つける習慣をつける。
- * 不用意に外部に情報を漏らさない。
- * 家族や会社との間で緊急時の集合場所を決めておく。
- * 定型パターンの行動を避ける。

テロの被害を受けないための事前対策 その2



(服装)

- * 目立つ服装, 目立つ車, 目立つ行動を避ける。
- * イヤホン等で音楽を聞くなどして外部の音を遮断しない。
- * 避難できる服装を着用 (ハイヒール, サンドル, 半ズボンは高リスク)。

(立ち寄らない, 通行しない, 滞在は短く)

- * 宗教関連施設, 軍・警察施設, 外国関連施設にはなるべく近づかない。
- * ガラスを多く使用した建物にはなるべく近づかない。
- * 人が多く集まる場所にいる時間をできるだけ短くする。
(空港の受付カウンター, ホテルのロビー等)
- * 大きな荷物, 不自然な厚着, 不審者, 不審物には近づかない。

テロに遭遇した場合の対処方法 その1

(どんな場合でも)

- * 爆発音・銃撃音が聞こえたら直ちに伏せる。
- * 頑丈な物陰に隠れる。
- * できるだけ速やかに現場から離れ近寄らない。
- * 避難する時間がない、または襲撃対象となりうる場合は隠れる。
- * 群衆パニックに巻き込まれない。将棋倒しに注意。
- * 現場から逃げることができたなら、体に異常がないか確認する。

テロに遭遇した場合の対処方法 その2

(爆発テロ事件の場合)

- * カバン等で頭部を保護し、姿勢を低くして爆発時点から離れる。
- * 爆発に遭遇した瞬間は、肺の損傷を防ぐため「少し口を開け」、首と鼓膜の損傷を避けるため「首の後ろを手の平で覆い、耳をふさぎ」、目を守るため「目を閉じる」。
- * 複数の爆発物が仕掛けられている可能性に注意。

テロに遭遇した場合の対処方法 その3

(銃撃事件の場合)

- * 低い姿勢で、ジグザグに逃げる。
- * 壁際から離れて逃げる。
- * 安全に逃げるため、周りの動きをよく見る。
- * 不用意に動く狙い撃ちされるので、叫ばない、目立たない。
- * 防御物となる硬い物体を探す。

(現場から離れたら)

- * スマートフォン、テレビ、ラジオ等で情報収集。
- * 関係者に安否報告。
- * 事件発生を警察に通報する。
- * 大使館/総領事館に連絡する。

テロに遭遇し、隠れた・閉じ込められた場合の対処方法 その1

(入らせない)

- * 出入口にカギをかけ、バリケード化する。

(被害に遭わないために)

- * 立たない。ドアや廊下側の壁際に近寄らない。できるだけ頑丈な物陰に隠れる。

(気づかれないために)

- * 室内の電気を消す。
- * カーテンを閉める。
- * 物音を立てない。
- * テロリストに察知されないよう着信音を消すため携帯電話の電源を切る。

テロに遭遇し、隠れた・閉じ込められた場合の対処方法 その2

(正常な状態で対応するために)

- * とにかく落ち着き、正常な判断や対応ができる精神状態に戻す。深呼吸する。
- * 犯人の動きや気配を物音で観察し、安全に逃げられるようであれば逃げることも考える。
- * パニックを起こしている人へは、静かにゆっくり話す、ゆっくり動く。
- * 粉塵を吸い込まないようにハンカチ等で口と鼻を覆う。

(隠れていることを通報する、救助要請のために)

- * 携帯でメールを送信できる状況であれば送信。その後、一定間隔で送信。電池残量が不安ならば電源を切る。
- * 閉じ込められて救助を呼ぶ場合は、一定間隔で物を叩いて知らせる（大声を出せば体力を消耗する）。